

Making of Purpose



JR九州システムソリューションズ株式会社
JR Kyushu System Solutions Inc.

Copyright(c) JR Kyushu System Solutions. Inc All Rights Reserved.



パーパスとは

「企業の存在意義」と言われます

私たちのパーパスは、

もちろん最初からあったわけではありません

社員一人ひとりの声を重ね

私たち自身で、少しずつ形にしたものです

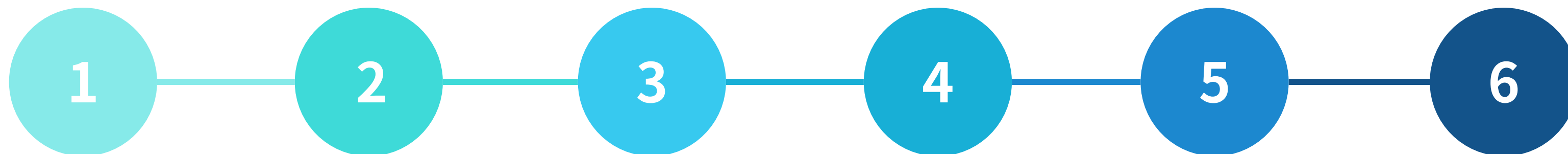
困ったとき、判断が必要なとき

コンパスのように

私たちの道しるべとなってくれることを

願っています

つくりあげるまでの道のり



社内説明会 ホワイト ボード

2024年8月、パーパスを作る背景や目的を共有しました

その後、ホワイトボードに自分たちの声を付箋で集め、共感度の高い内容にリアクション機能で投票しました

検討会

階層別集まる機会を設けました

「いいな」と思った付箋をグループワークで共有し、「なぜそう思うのか」という視点で深掘りしました

Creatorsで コピー作成

Creatorsを募り、JQSとしての強みやキーワードとなる言葉を整理し、パーパスに組み込むべきワードを練りました

アンケート ①

具体的なコピーを3案に作成

社内アンケートの結果を丁寧に確認し、さらにブラッシュアップできる余地があると判断し、再考することにしました

アンケート ②

アンケートでのコメント1つ1つを踏まえて、パーパス確定しました

パーパス 決定！

パーパス確定後は、パーパスの位置づけやボディ文などについても議論を重ねました

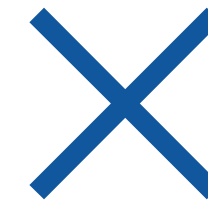
2024年の夏から約1年かけて自分たちのパーパスを考えてきました。最初はホワイトボードに自分たちの声を1つ1つ貼るところから。その声を踏まえ、自分たちがなぜそう思うのか、言語化・明確化していくことで、自分たちらしさを探ってきました。

<テーマ>

JQSが他会社と違うところはどこか

働いていて喜びに感じることは何か

これからはどのようなお客さまに求められたいか



<切り口>

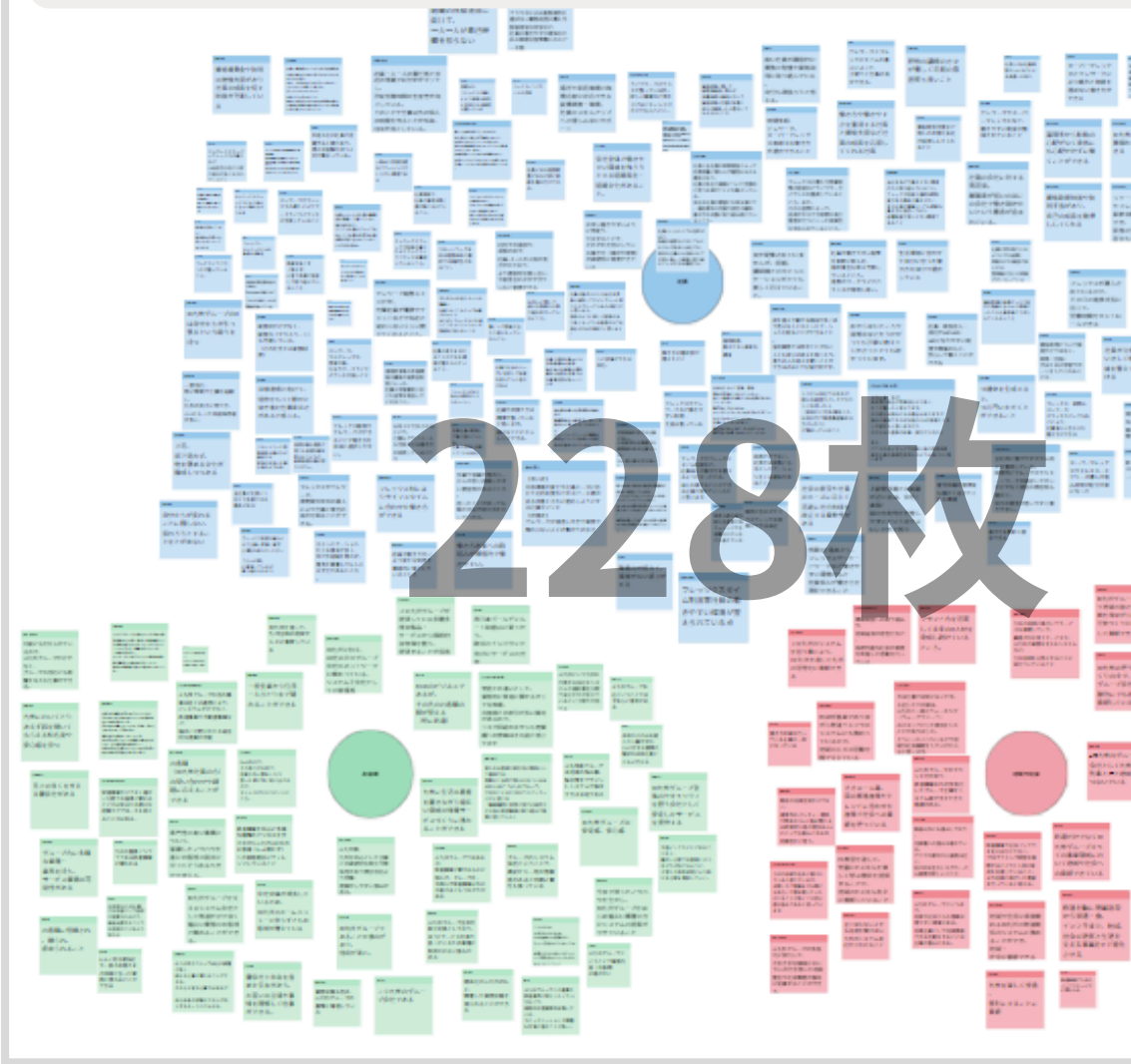
社員

お客さま

地域や社会

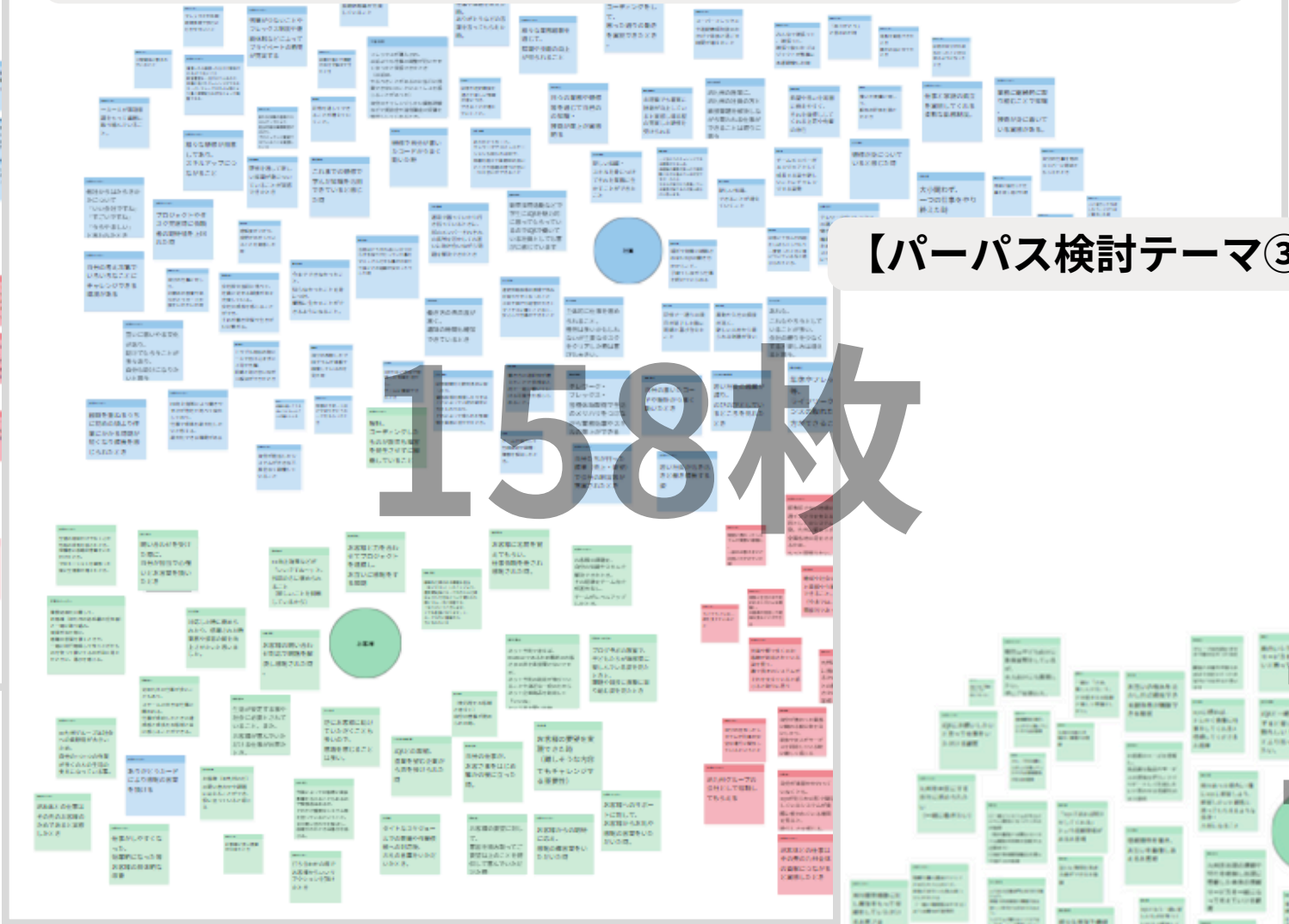
ホワイトボードでは、テーマを左の3つに設定しました。さらにそれぞれのテーマについては3つの切り口で考えました。

【パーパス検討テーマ①】JQSが他会社と違うところはどこか



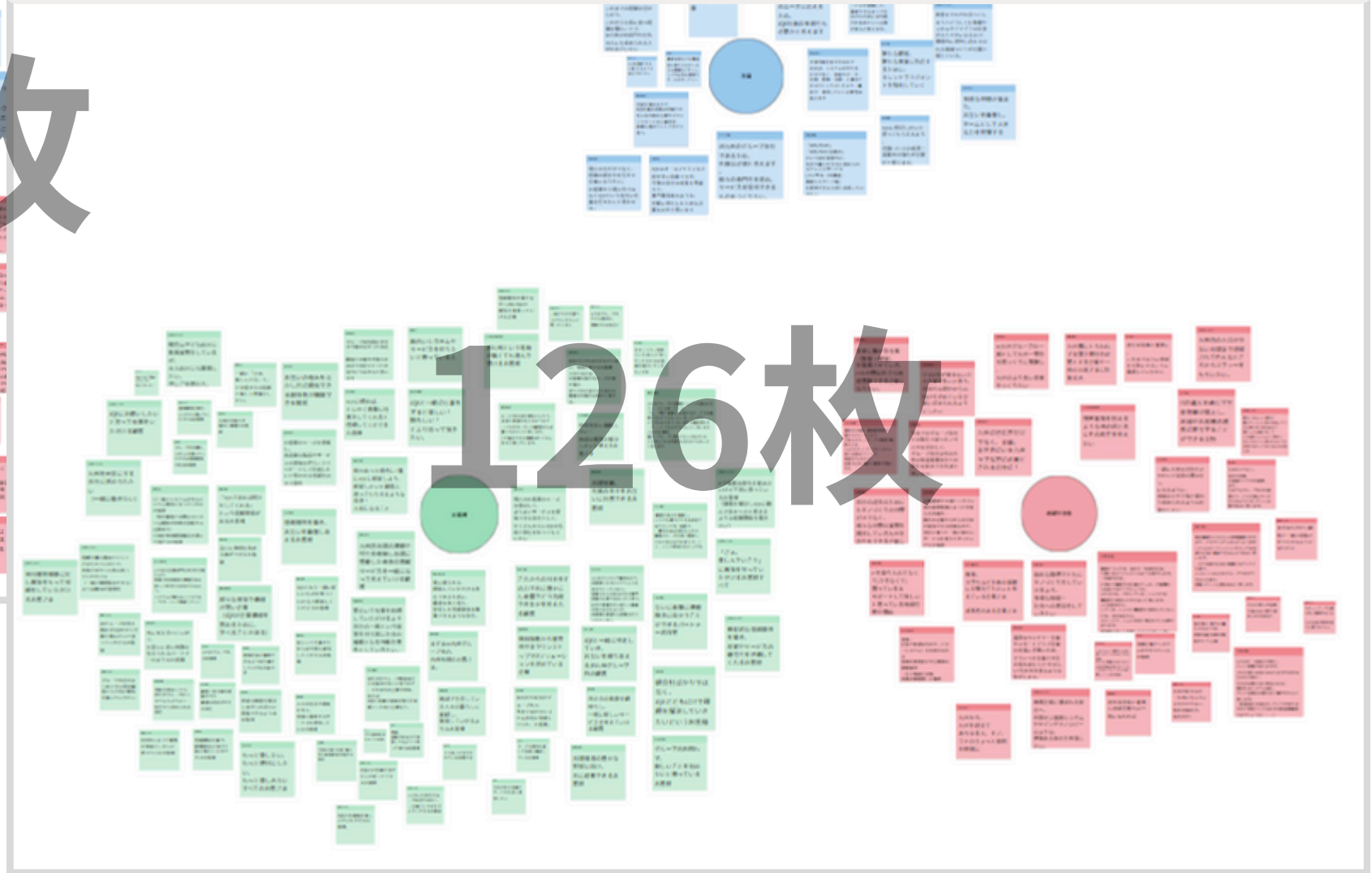
228枚

【パーパス検討テーマ②】働いていて喜びに感じることは何か



158枚

【パーパス検討テーマ③】これからはどのようなお客さまに求められたいか



126枚

実際のホワイトボードのスクリーンショットです。合計512枚の付箋は、どれ一つとして同じものはありませんでした。社員一人ひとりが、自分たちの言葉で考え、付箋に書き出しました。

検討会後

さらに、検討会を経て、最終的に出来上がったホワイトボードはこちらです。自分たちらしさが見えてきました。

見えてきた、JQSの強み、JQSらしさ

JQSの強み、JQSらしさ①

ワーク・ライフ・バランス

—働きやすい環境で、最高のパフォーマンスを—

アンケートコメント抜粋

働きやすさがEX向上施策により突出している。
仕事で成果を最大化したいと思える、最大化できる環境がある

それぞれの生活スタイルを尊重し、対面でなくてもウェブ会議やチャット、
ありがとうカードなどを通して**コミュニケーションを積極的に取れるところ**

ライフ・ワーク・バランスを重視するため、
各自がタスクや時間の自己管理を行うなど自律性を求められているところ



1点目は、ワーク・ライフ・バランスです。共通する想いは、「働きやすい環境で、最高のパフォーマンスを発揮し、お客さまのお役に立ちたい」というものでした。

JQSの強み、JQSらしさ②

JR九州グループの社会貢献

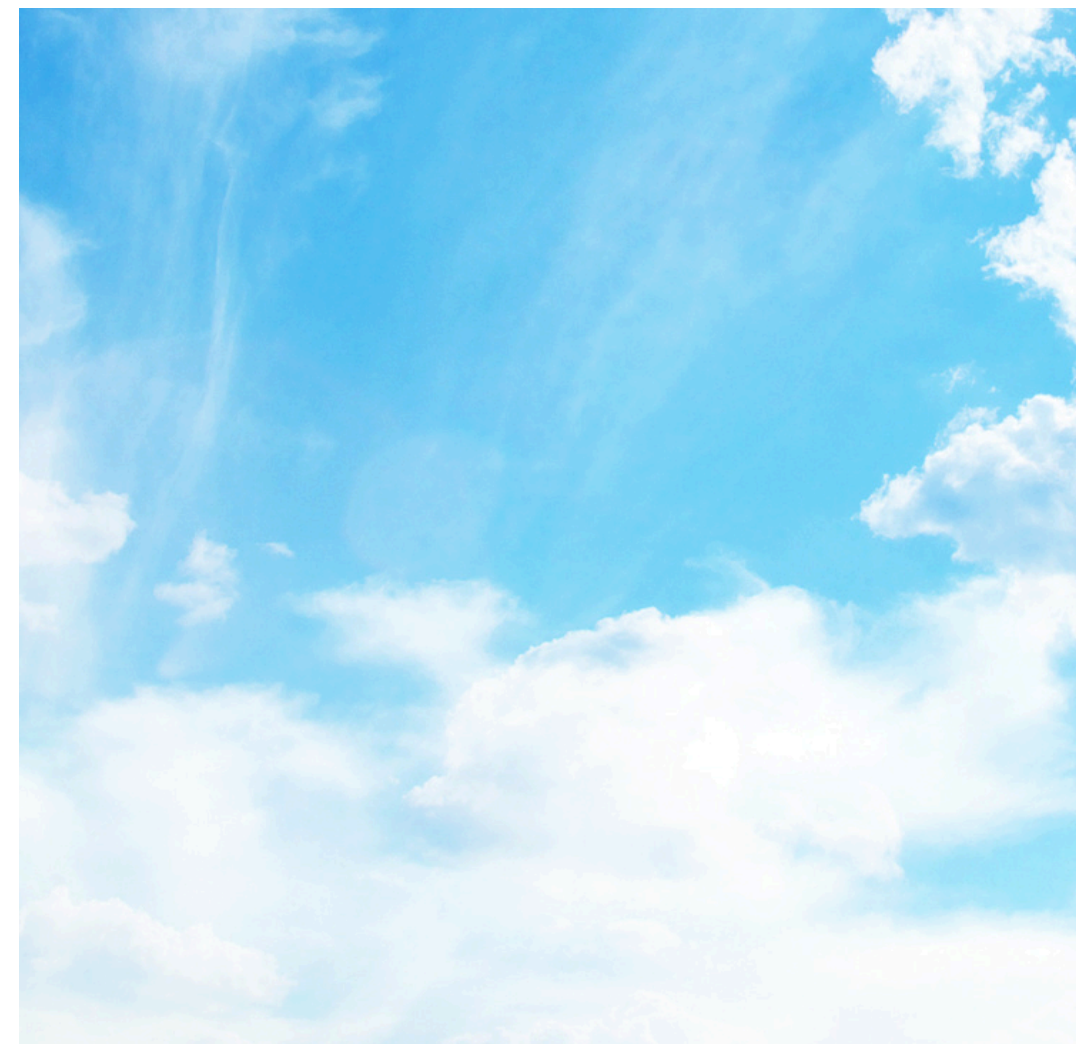
—ITと地域をつないでいる—

アンケートコメント抜粋

列車や駅で多くのお客さまが利用されている姿を見て、裏で私たちのシステムが支えていることを誇りに思う

自分が携わった業務に関わる駅広告を目にしたり、家族や友人がサービスを利用している時に嬉しく感じる

業務効率化に関してお客様と一緒に取り組み、成果が出たときに感謝の言葉をいただいたり、試行錯誤して作り上げたものを実際に使っていただいているのを目にしたときに、喜びを感じる



2点目は、JR九州グループの社会貢献です。共通する想いは、「JR九州のグループ会社として、ITと地域をつないでいる」というものでした。

JQSの強み、JQSらしさ③

変化・成長できる楽しさ

—お客さまの信頼に応えるために—

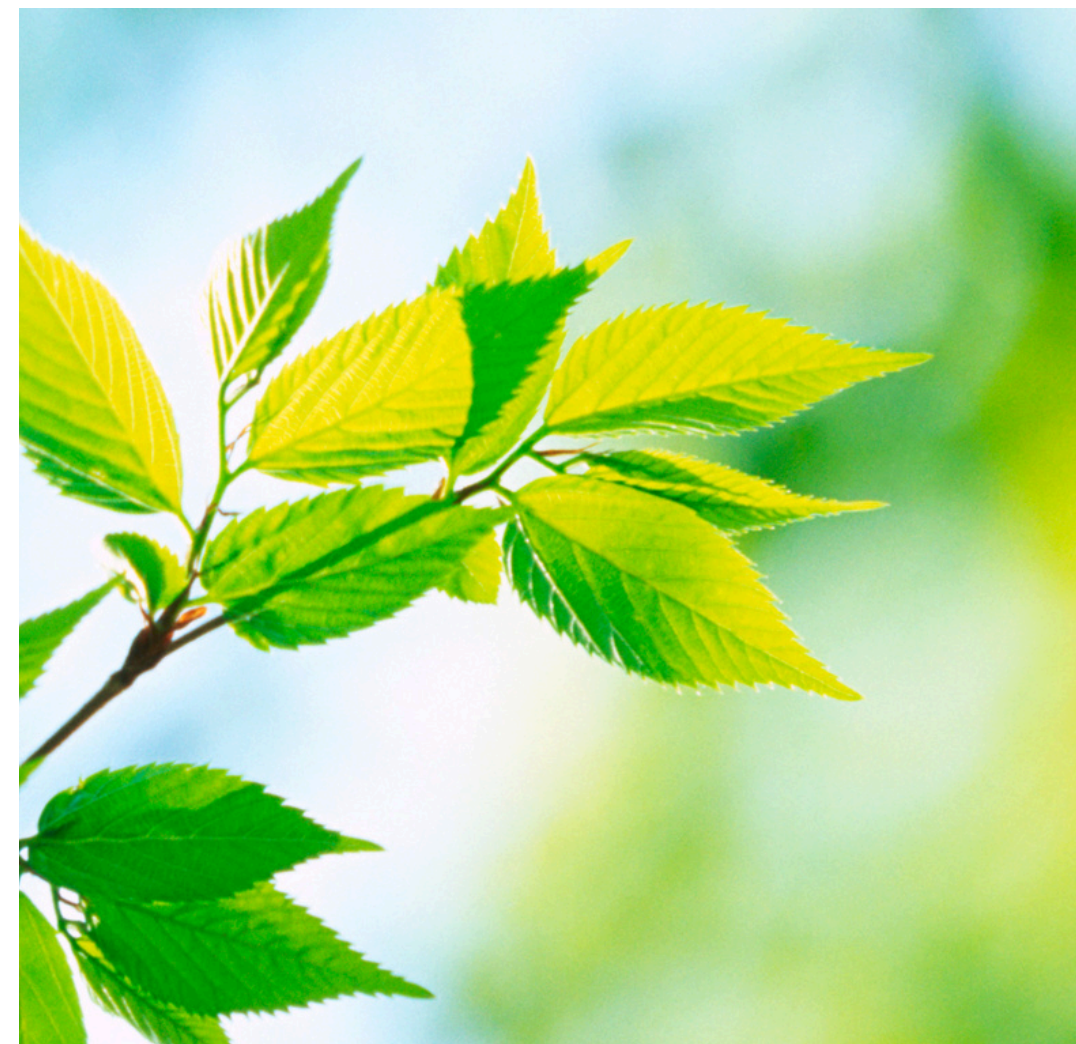
アンケートコメント抜粋

新たな知識の習得やスキルアップにより担当可能な業務範囲が広がり、プロジェクトに貢献できていることを実感したとき

ご要望に対してプラスアルファのご提案ができて、採用していただいたとき

チャレンジできる範囲が広く、未経験の業務も多いが、その分スキルが伸び、成長を実感できるのが良い部分だと思う

ピープルマネジメントを取り入れ、社員一人ひとりが信念や希望を持ち続けられる社内環境に整えているところ



3点目は、変化・成長できる楽しさです。共通する想いは、「お客さまの信頼に応えたい」というものでした。

これからどんな未来にしたいのか

これからはどんな未来にしたいのか①

共感・信頼してくださる お客さま×JQS



成長しあえる関係性を

「さあ、楽しんでいこう」に
共感してくださるお客さまと楽しく仕事をしたい

お互いの強みを活かし
共に成長できる関係性が構築できるお客さま

頼れるパートナーとなる

ITで業務効率化に挑むお客さまへ。
課題を解決し「JQSに頼んで良かった」
と思えるような信頼関係を築きたい

個人の力だけでなく、**組織の総合力**を生かす企業に。
お客さまに「JQSに任せたい」と思ってもらえる存在へ

これからはどんな未来にしたいのか②

九州や地域の活性化に 取り組むお客さま×JQS



もっと楽しい地域へ

暮らしを便利に、豊かに
「〇〇いいじゃん！面白い、住んでみたい」
そう思える未来を、一緒に描けるお客さま

福岡はベンチャー支援が手厚い。
だからこそ、企業と共生すれば
もっと“たのしい”ことが生まれる

九州から世界へ

九州から、九州を超えて
あらゆる人、モノ、コトのちょっと面倒を快適に

九州に住む人も、全国・世界にいる「九州ラブ」な人も。
そんな皆さまに必要とされる会社へ！

Purpose

コツコツをチカラに、ワクワクをカタチに

Purpose

コツコツをチカラに、ワクワクをカタチに

アンケートコメントより

- 1 DNAへのつながりを感じた
- 2 社風に合っている
- 3 目指すところがイメージできた

最終的には複数案のコピーの中から、社内アンケートで決めました。アンケートコメントの一部をご紹介します。

Purpose

コツコツをチカラに、ワクワクをカタチに

アンケートコメント抜粋

1 DNAへのつながりを感じた

- ”ワクワクをカタチに”の部分が「さあ、楽しんでいこう」に繋がっていると感じた
- コツコツと、誠実に・堅実に・着実に積み重ねてきたベースがあるからこそ**
作り上げられるワクワクを、さあ楽しんでいこう！というストーリーを感じる
- 「どんなときも共にワクワクできる、モノづくりの会社へ」というDNAにも
ワクワクというワードが含まれていて、
そのワクワクをカタチにしたいというのは一貫性があるって良いと感じた

Purpose

コツコツをチカラに、ワクワクをカタチに

アンケートコメント抜粋

2 社風に合っている

- 今までのJR九州グループ各社での**システム運用・開発で培った技術や経験**を活かし、**新事業にも挑戦している**点から、JQSのパーパスにふさわしいと思う
- 技術というものは直ぐに身につくものではなく、**日頃からの努力の積み重ね**で身につくものと考えていて、共感できる
- 派手ではないが、**真面目に業務に取り組むJQSの雰囲気**に合っており、**コツコツの努力がワクワクをカタチ**にする流れも自然で、日々意識して業務に取り組めると思う

Purpose

コツコツをチカラに、ワクワクをカタチに

アンケートコメント抜粋

3 目指すところがイメージできた

- 私たちに関わってくださるお客さま、また主人公である私たちが「ワクワク」する未来をシステムやサービス、組織づくりを通して「カタチ」を築けるのではと感じた
- 自分たちが行っている業務一つ一つは公になることはないと思われるが、自分たちの中ではやってきたこととして力となり、働きやすさや業務内でのJQSとしての楽しさ、ユーザーが使いやすく楽しいと思えるようなサービスを形にするという流れが良いと感じた
- 夢を叶える道筋を示し、努力と挑戦を応援する言葉。未来への希望と活力が湧く



JR九州システムソリューションズ株式会社
JR Kyushu System Solutions Inc.